



西栗倉小学校だより

No. 6

令和7年10月6日（月）

力を出し切った運動会

9月21日（日）に、幼小中合同運動会が開催されました。前日の夜に雨が落ち、運動場が少し湿ってはいましたが、問題なく開会式を迎えることができました。

園児・児童・生徒の演技はいかがだったでしょうか？

今年から、以前にも増して、児童・生徒主体の運動会になるよう、生徒会による実行委員会を立ち上げて運営を任せたり、小学校においても高学年が先頭に立って練習を進めたりといった工夫をしました。

小学校では、ラジオ体操や玉入れや全校種目など、高学年が低中学年に指導したり、色ごとに作戦を立てて競技したりしました。こういった児童同士の関わり合いが持てたことで、以下のような姿が見られました。



- 低学年が高学年の指示を顔を見て真剣に聞いていました。
- 中学年は玉入れの道具の準備を自主的に手伝っていました。
- 中高学年は、幼稚園児に玉入れの仕方をやさしく指導していました。
- 高学年は、全体種目の作戦を考えると、みんなの意見を吸い上げようと努力していました。
- 高学年は、低中学年の行動に目を向けながら、気づいたことは率先して行っていました。

当日だけでなく、日々の練習の中でも、以上のような姿が見られていたのです。児童が自らの意思をもって活動する場には、このようなキラリと光る行動がたくさん生まれるのです。



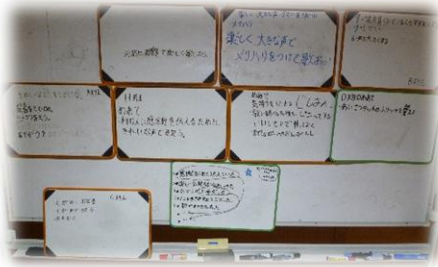
小学校のテーマであった「Good winner, Good loser, Good smile!」の達成には、こういった日々の行動も必要であったことでしょう。

運動会は終わりました。でも、この行事を通して学んだり身につけたりした力は忘れないでほしいです。そのためには、これからの教育活動の中で、今回身につけた力を再確認したり、活用したりする場面を継続していくことが重要です。「運動会するとき、どんなことを学んだかな？」「あの時学んだことを今使うことができたね」「運動会で学んだことが活かされているね」といった言葉がけをいっぱい児童に浴びせるようにしたいと思います。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、地域の皆様、当日はいろいろご協力をいただき、また、大きなご声援をいただき、大変ありがとうございました。



メッセージを歌で伝えたい



10月3日（金）に本校体育館にて、西栗倉村福祉大会が行われました。毎年、本校児童も参加し、高齢者の方々に歌のプレゼントを贈ってきました。

運動会が終わってすぐに練習に取り掛かりました。今年はホームタイムを使って、この会の目的はか、高齢者の方々に何を伝えたいのか、それを歌に表現するにはどうしたら伝わるのかを、縦割り班ごとに考えました。そして、各班ごとで目標を設定しました。目標はホワイトボードに記入し、体育館入口付近に掲示しておきました（左上）。さらには、入場前に、各班の班長が再度、目標確認をし、この会に向けての意気込みを6年生が全校に語り掛けてくれました。

こうして福祉大会は、児童にとってただ歌を披露する行事に終わるだけでなく、高齢者のことを考えた思いのこもった行事になりました。

児童の歌声はすばらしく、体育館にきれいな声が響き渡っていました。その質的な高まりはもちろん、子どもたちが込めた思いが音楽と一緒に伝わってくる気がしました。

参観者の方からは、「子どもたちの声がすばらしかった！」「ずっと聞いていたかった！」「歌声に元気をもらった！」「心が洗われた気がした！」など、たくさんの誉め言葉をいただきました。

このような評価をいただいたのは、歌唱指導はもちろんのこと、子どもたちが思いを抱き、それを伝えようとしたからだと思います。

最後に、高齢者の方々とタッチをしながら退場する場面では、高齢者の方々と児童のにこやかな笑顔が見られました。この風景は、いつ見ても素敵です。心が温まりました。

退場後、児童は縦割り班ごとに集まり、今日の振り返りを話し合いました。自分たちが考えたことが実現できたのかどうかを自分たちで客観的に評価するためです。また、今後活かせる改善策についても意見を出している班がありました。

今回の福祉大会も、運動会に引き続き、児童の成長の場になったと思います。

当日ご参観いただいた保護者の方々、ありがとうございました。

